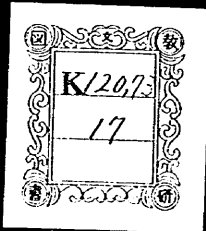


山田源一郎
教科
適用
新
唱
歌
第一編



K120.73

17

193
237

敬用
通科

新 唱 歌

第壹
編

K120.73
19...

山田源一郎編

教科書
新唱歌
第一編

東京銀座 十字屋發行



凡 例

一本書ハ同志ノ人ト諮リ普通學校ノ教科用トシテ適切ナル新材
料ヲ供給スル目的ヲ以テ編纂シタルモノニシテ期スルトコロ
ハ忠君愛國仁義道德ノ精神ヲ發揚シ斯科ノ效用ヲシテ益々顯
著ナラシムルニアリ

一本書ハ每編必ズ平易流暢ナル新作ノ歌曲五種ヲ收ム面シテ其
順序ハ必ズシモ歌想或ハ樂趣ノ程度ニ倚ルモノニ非ズ蓋シ時
ト場所トニ應シテ撰擇セラレントハ一ニ教師ノ意見ニ任スル
ノ旨意ナリ

明治三十年二月

編 者 誌

教科
適用
新 唱 歌

第 壹 篇 目 次

作 歌

作 曲

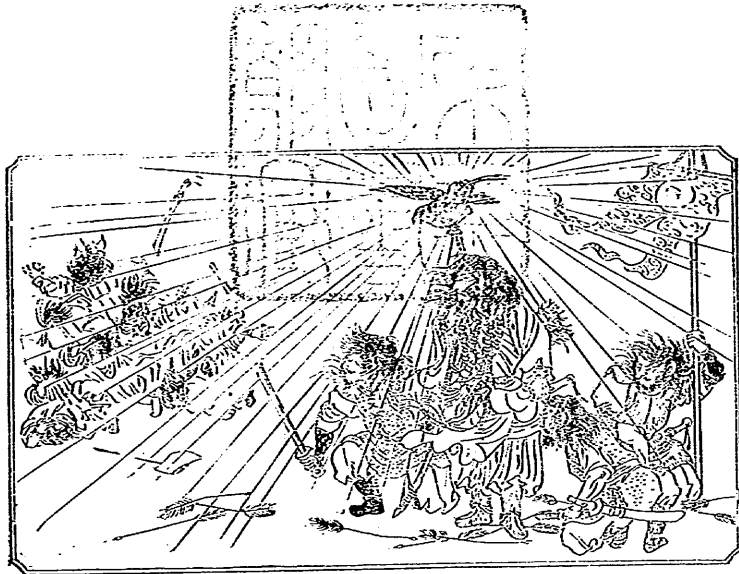
檜 原 の 宮……………大和田建樹……………小山作之助

軍 旗……………中村秋香……………山田源一郎

摘 草……………佐々木信綱……………鈴木米次郎

勇 士 の 譽……………大和田建樹……………納所辨次郎

ま す 鏡……………本居豊穎……………奥 好 義



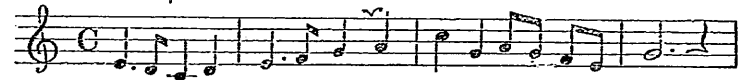
檀原の宮

一、舟師をひきかゝりし
 二、凶徒を志づめり
 三、その檀原のし
 さゆるかゆく御代は
 即せぬ御代は
 そなたの御代は
 もどかぬ御代は
 めぐみはたかし
 さだめはたかし
 凶徒を志づめり
 御稜威のひかり
 御旗のなびき
 わたり給ひかゝり
 舟師をひきかゝり
 波をしのぎ
 難波の崎
 海を渡る
 千里にのみ
 賊を攘ひ
 大和の國
 天宮に
 天宮に
 天宮に
 地宮に
 地宮に
 地宮に
 遠くまで
 遠くまで
 遠くまで
 しく位て

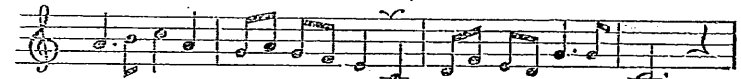
大和田建樹 作歌
 小山作之助 作曲

檀原の宮

小山作之助 作曲 大和田建樹 作歌



ハ調 3. 2 1 2 | 3. 4 5 6 | 1̇ 5 6 5 4 3 | 5-0 |
 (一) シウシチヒキ井ナミチシノギ
 (二) きようまをしづめぞくむはらひ
 (三) ソノカシハラノミヤニマシテ



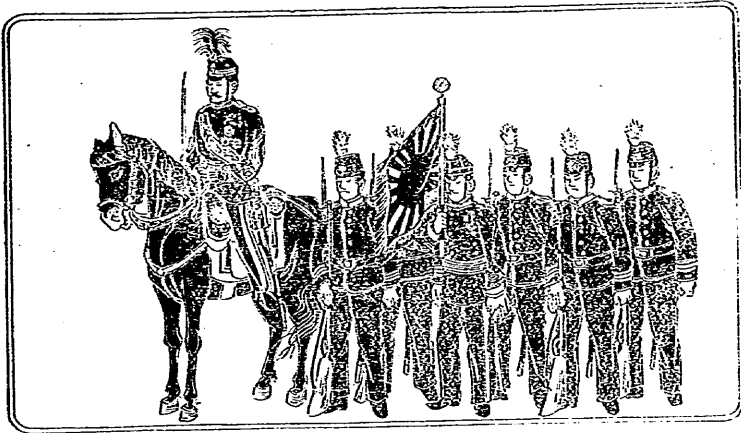
6. 7 1̇ 6 | 5 6 5 4 3 1 | 2 4 3 2 5. 5 | 1-0 |
 ヲタリタマヒシナニハノサキ
 さだめたまひしやまミのくに
 ツカセタマヒシアマツクラ井



1̇. 7 6 5. 6 7 | 2̇ 7 5 2 | 5 7 6 5 6 7 | 2̇-0 |
 ミハタノナヒキウミチオホヒ
 めぐみはたかしあめさもに
 ユルガヌミヨハアメトナガク



1̇. 7 1̇ 2̇ 1̇ 7 | 6 1̇ 2̇ 1̇ 5 5 | 6 5 4 3 5. 5 | 1-0 |
 ミイツノヒカリチサトニミツ
 もみはかたしつちささもに
 サカユクミヨハツチトトホシ



四、三
 二、
 一、

二、たび空にひらめけば
 海山清く風なきて
 普く世界を照しつゝ
 騒ぎし雲霧迹もなく
 高く輝く日の御旗
 仰がぬ國こそ無かりけれ

一、日出づる國のひいでたる
 きらめく光は是ぞこの
 濃き紅は即て我が
 一、たび空に棚引けば
 山は崩れて谷を埋め
 餘響は地球を動かして
 黒雲起り霧迷ひ
 海覆りて陸となる
 萬の國に震ふなり

一、日出づる國のひいでたる
 姿を忍がく日の御旗
 元帥陛下の大御稜威
 海陸軍の心の色

軍旗

中村秋香 作歌
 山田源一郎 作曲

軍旗

山田源一郎 作曲 中村秋香 作歌

変は調 5 3 i 7 6 | 5 6 2- | 2 4 3 2 1 | 2-0 |

(一) ヒビ イダ シビ クニ ノヒ イテ タケ シバ
 (三) アミ タタ ビニ ソラ ニヒ ナメ ケバ

5 3 i 7 6 | 6 7 i i | 3 2 3 4 6. 5 | 1-0 |

スガク チー エガ クリ ヒキ ノー ミハ ハタ
 くるハ ギンー オモ キリ アー トー モナ ヲク

2. 2 2 3 | 4 3 2 3 4 4 | 6 6 5 4 3 | 3-0 |

キヤラ マク ヒク カリ ハテ コレ ソコ ノ
 ヲミマ ヤー キー ヨー クー れて たに なう め
 ヲナ マー キー ヨー クー れて たに なう め

i. 1 7 6 | 7. 6 5 5 | 6 6 3 4 | 5-0 |

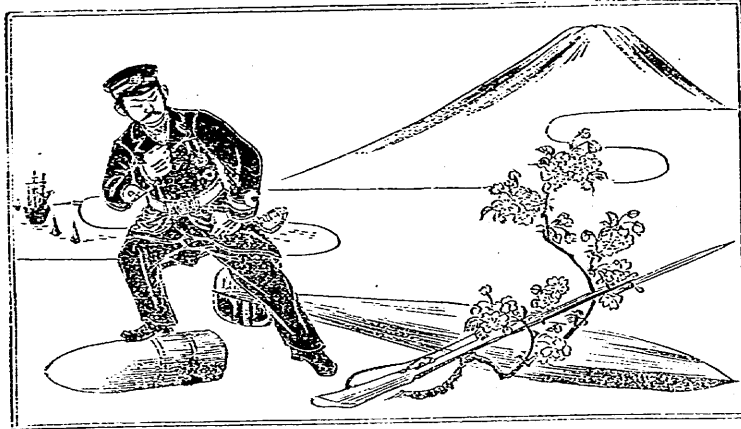
ゲン スク 井ヘ イ カ ノ オホ ミイ ナ
 タミ カク カガ ヤテ ク ヒ ノ ミハ ヲ
 タミ カク カガ ヤテ ク ヒ ノ ミハ ヲ

5 5 i 7 6 | 5 6 2 2 | 2 4 3 2 1 | 6-0 |

コキク レー ナシ 井ハ ハー ヤー ガー ヲ
 ヲキク レー ナシ 井ハ ハー ヤー ガー ヲ

i. i 7 6 | 6 7 5 5 | 6 6 6 7. i | i-0 ||

カイ イリ クの グン ノー コー ロー ノー イナ
 アフ ヲガ x ク ニ コー ソ ナー カー ヲ

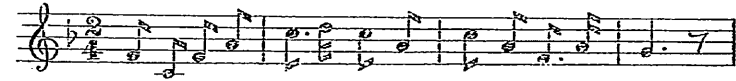


一、生きては皇國の楯
 死しては守りの
 日之本男兒の
 世界をてらす
 二、生きては官位
 死しては祭祀の
 日之本男兒の
 典をにうけ
 三、吉野の花より
 駿河の富士より
 戦國の高き
 命をあげて
 すほよ命を

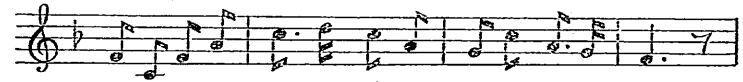
大和田建樹 作歌
 納所辨次郎 作曲
 勇士の譽

勇士の譽

納所辨次郎 作曲 大和田建樹 作歌



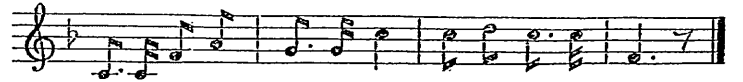
一調 1 5 1 3 | 5. 6 5 3 | 5 3 1. 3 | 2. 0 |
 (一) イ キ テ ハ ミ ク ニ ノ タ テ ト ナ ヲ
 (二) い き て ほ く わ ん の の え い を う け
 (三) ヨ シ ノ ノ ハ ナ ヨ リ カ ウ パ シ ク



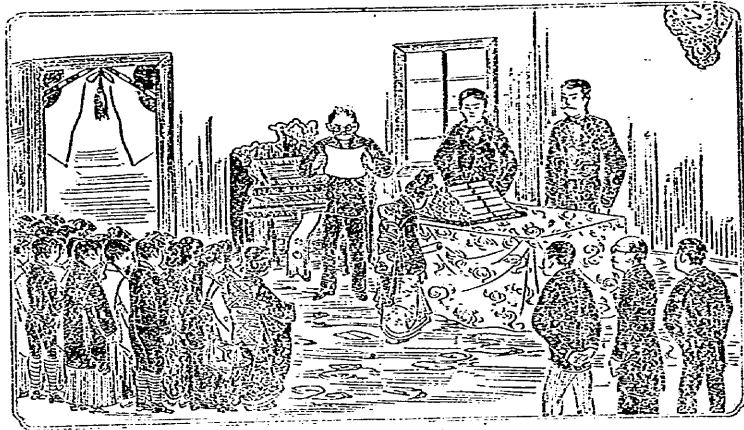
1 5 1 3 | 5. 6 5 3 | 2 5 3. 2 | 1. 0 |
 シ シ テ ハ マ モ リ ノ オ ニ ト ナ ル
 し し て ほ ま い し の て ん に あ ふ
 ス ル ガ ノ フ シ ヨ リ イ ヤ タ カ キ



5. 5 5 5 | 6 5 3 1 | 5. 6 5 3 | 2. 0 |
 ニ ツ ホ ン ダ ン シ ノ コ コ ロ コ ソ
 に つ ほ ん だ ン ト の ほ ま れ コ ソ
 ホ マ レ チ ア ゲ テ ク ニ ノ タ メ



5. 5 1 3 | 2. 2 5 | 5 6 5. 5 | 1. 0 |
 セ カ イ チ テ ラ ス カ ガ ミ ナ レ
 し か い か お ほ ふ ひ が リ な れ
 ステ ヨ イ ノ チ チ セ ン シ ャ ヲ ニ



三、國世清と學海豐仰明
 ますがどこの光りまはは
 くこよりくまはは
 そいろの
 一、國世清と學海豐仰明
 ますがどこの光りまはは
 くこよりくまはは
 そいろの
 二、國世清と學海豐仰明
 ますがどこの光りまはは
 くこよりくまはは
 そいろの

ます鏡

本居豐頴 作歌
 與好義 作曲

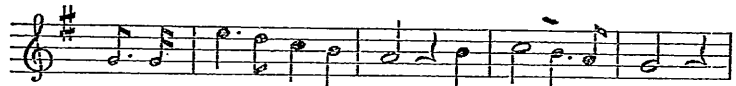
ます鏡

與好義 作曲

本居豐頴 作歌



5. 5 | 1. 2 3 2 | 1-0 2 | 3-4. 6 | 5-0 |
 (一) ア ク ル ヤ マ ノ ハ タ カ ダ カ ニ
 (二) ま な び の ま ん の あ げ く れ に
 (三) ク ニ ノ ヒ カ ヲ ハ ヒ ノ モ ト ノ



1. 1 | 6. 5 4 3 | 2-0 3 | 4-3. 2 | 1-0 |
 ア フ ギ テ マ ツ ノ コ ズ エ ヨ リ
 ミ ギ テ ヲ ヲ ク マ ハ ア ラ ネ ド モ



5. | 6. 7 1 3 | 3-2 2 | 3- #4. 1 | 5-0 |
 ト ヲ サ カ ノ オ ル ア サ ヒ カ グ
 キ イ キ コ コ ロ ノ マ ス カ ガ ミ

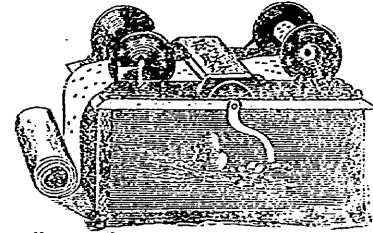


1 | 6. 5 4 3 | 2 3 4 6 | 5-2. 3 | 1-0 |
 カ ミ ノ チ サ ト モ テ ラ ス ナ リ
 イ ニ あ ら は さ - む さ き は き ぬ
 マ ス マ ス ソ - ヲ タ ニ ノ タ メ

K120.73
22

●唱歌教授用輕便音樂器

勇壯活潑なる軍歌軍樂出衆
無師紙腔琴十五錢並製金七圓小形五圓



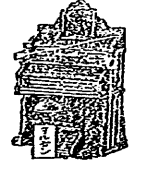
本器は習ずして誰人にも奏
曲の快を自由ならしむべき
美妙の音を自由に奏せしむ
歌は勿論御茶の味に其歌な
調る秘曲も御茶の味に其歌な
には非ず本舖の専賣品に似
らざる本舖の専賣品に似
ガソルゴイヤル等の不似
もせざる御用を賜ふ所あり
大博覧會の御用を賜ふ所あり
得ざる事無き名器故風琴を
の自在なる數多の長所あり

●本舖

紙腔琴製造
大捷軍歌發行

東京銀座三丁目二番地 十字屋

●西川製オルガン



金拾八圓
金廿五圓
金卅五圓
金四十五圓
金五十五圓

●舶來大太鼓小太鼓

西洋模笛 廿五錢卅錢五十錢
上等清笛 卅錢四十錢五十錢

●オルゴール種々

オルガンピアノ、手風琴修繕致候

種々

